※令和４年度以降入学生用

学校番号	402

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	2026 大学入学共通テスト対策　チェック＆演習化学基礎（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年で学習した「化学基礎」の学習内容を深め、自然科学の化学分野に対する理解を深める。自然科学に対する興味・関心を深めることを目標とし、問題演習だけではなく、観察・実験なども行い科学的に探究する力を養う。

2　学習の到達目標

a：知識及び技能
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付ける。

b：思考、判断、表現力等
観察，実験などを行い，科学的に探究する力を身に付ける。

c：学びに向かう力、人間性等
化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学物質について、基本的な概念や原理法則を理解し、知識を身に付けている。	化学物質や化学物質の変化する様子の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	身の回りの化学物質に関心をもち、意欲的に探究しようとすると共に、個々の化学物質の性質と異なる化学物質どうしの関連性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	化学基礎	化学と人間生活 物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合 物質量と化学反応式 酸と塩基 酸化還元反応	a:物質の性質やその変化など化学基礎の基礎知識を正しく理解できる。 b:化学結合による物質の分類や、化学変化のしくみなどを考えることができる。 c:酸・塩基の性質や反応、酸化還元反応のしくみなど理解し、それらについて実験を通じて調べようとする。	定期考査	定期考査 実験・レポート	実験・レポート
後期	化学基礎	総合演習 大学入学共通テストの問題等を題材とし、総合的に知識を活用する。	a:物質の性質やその変化など化学基礎の基礎知識を正しく理解できる。 b:化学結合による物質の分類や、化学変化のしくみなどを考えることができる。 c:酸・塩基の性質や反応、酸化還元反応のしくみなど理解し、それらについて実験を通じて調べようとする。	定期考査	定期考査 実験・レポート	実験・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度